

講演
「考える子どもを育てるには」と題して、長崎カウンスリング研究所 臨床心理士 浅香佐輝子氏よりご講演をいただきました。日々、カウンスリングで接する子どもたちの様子から、親や先生、友だちなど周囲の人の考えに合せて生きている子どもが増えていることや、高校までは、自分の考えより、正しい答えを要求されることが多い

(諫早・大村・東彼地区)
自分で考え、行動できる子どもを育てる
～次代を生き抜く人材育成を目指して～
日時 令和元年11月23日(土)
13:00～16:30
会場 シーハットおおむらさくらホール
参加者 16校 291名

講演
「未来を担う高校生の保護者として、考えるべきこと」と題して、佐賀県立鹿島高等学校教頭の笹谷留里子先生に講演をしていただきました。教員として母親という二つの立場から、「子育てに正解はなく、子どもに関心を持つ

(長崎地区)
心豊かで健やかな
長崎っ子を育むために
日時 令和元年11月16日(土)
13:00～16:30
会場 長崎県総合福祉センター
参加者 18校 389名

ことが大事である「等、ご自身の経験を交えながら、我が子との関わり方のヒントになるようなお話を熱く語っていただきました。講演を聴いた保護者からも、大変ためになるお話だったと大好評でした。

「学校活性化のための取り組みPTA一人一役」長崎明誠高等学校のPTAから、活動の活性化を図るための「一人一役」の紹介がありました。除草作業や文化祭、就職試験の面接指導等の行事の中で、保護者に少なくとも一つ参加してもらい、何とか学校に目を向けてもらいたいという試みです。今年で三年目だということです。年々参加者が増え、これをきっかけに学校と家庭、保護者同士のつながりが深まっているという報告でした。

「学校と共に歩むPTA」長崎鶴洋高等学校のPTAから、うどんの炊き出しや、バザーの出店、PTA研修旅行等の取り組みが紹介されました。研修旅行では卒業生の就職先を訪問しているということでした。その後、進路・健全育成・調査広報の各委員会の取り組みが紹介され、就

職試験の模擬面接やイベントの校外指導、PTA新聞の発行等、学校と連携して活動している様子が報告されました。



たため、創造力や想像力が育ちにくい環境にあること。また、忙しい毎日のため、親子の会話や読書など自分の時間が確保できないことなどから「考えること」を人に任せにする現状があると話された。「考えること」が少なくなった弊害として、コミュニケーション能力が不足し、ストレスが増え、いじめ、虐待、あおり運転、引きこもり、若年者の自殺などの社会問題へ広がっていることが分析された。では、どのように考える力を育成するかは、「テック・フリー教育」(学校や家庭でIT機器の使用を制限する)の紹介や明治大学ラグビー部田中監督の指導を引用し、「いい時も悪い時も、親子間で、お互いに話ができるような関係づくりができる」といいます。また、いくつかの提案がありました。また、私たち大人が今からできることとして具体的なポイントとして以下の4点にまとめられました。①頭ごなしに叱らず、ま

ずは話を聴く②それをどういう風にしていくのか?と尋ねる③大人の価値観を色々と伝える前に、「ああ、そう考えているのね」と相槌を打つ④自分で考えて、決定し、責任が取れるように手伝う(必ず成功するとは限らないが、グツとこらえて見守る)との助言であった。参観者の事後のアンケートでは、自分の子育てや指導を振り返る良い機会となった、自分の子育てで生かしたいとの声が寄せられ実り多い講演会であった。

「学校と共に歩むPTA」長崎鶴洋高等学校のPTAから、うどんの炊き出しや、バザーの出店、PTA研修旅行等の取り組みが紹介されました。研修旅行では卒業生の就職先を訪問しているということでした。その後、進路・健全育成・調査広報の各委員会の取り組みが紹介され、就



講師
浅香 佐輝子 先生
長崎カウンスリング研究所
臨床心理士

終わりに 県生涯学習課矢川豊彦参事から講演をいただき、子どもたちに誇れる大人のあるべき姿をご助言いただき閉会しました。



県立ろう学校 和太鼓同好会「長ろう太鼓」に演奏を披露していた。太鼓に魂をぶつた力強い演奏や指揮者と一体となった美しい動きが会場に大きな感動をもたらした。



講師
笹谷 留里子 先生
佐賀県立鹿島高等学校
教頭

中、今を生きる高校生の未来を思い思いに想像する機会となった。アトラクション 県立ろう学校 和太鼓同好会「長ろう太鼓」に演奏を披露していた。太鼓に魂をぶつた力強い演奏や指揮者と一体となった美しい動きが会場に大きな感動をもたらした。

令和元年度 長崎県公立高等学校PTA連合会 7地区 8会場 で開催 長崎県教育委員会と共催

地区別研修会(第36次)報告

北PTAの諸活動について、「母の会・おやじの会」の取組について、「おやじの会」の取組について、「おやじの会」の活動、新たな発足した「おやじの会」の活動内容について紹介していただいた。

(佐世保地区)
「生きる力を育む」ために
～保護者としてPTAとしてできること～
日時 令和元年11月16日(土)
12:40～16:05
会場 佐世保市体育文化館
コミュニティセンター5階ホール
参加者 9校 384名

委員報告
健全育成委員会からは、各地区の夜間巡視活動の報告が行われた。巡視活動は、各小中学校でも実施されているため、各小中学校の活動について検討が必要であるなどの活発な議論が行われた。調査広報委員会からは「島原半島高PT連だより」を発行し、PTA活動を広報することや、各校の広報紙をもとに情報交換を行っていることが報告された。母親委員会からは、口加高校の卒業生である大野明子先生をお招き

(島原地区)
新しい時代(令和)を
拓く子どもたちのために
日時 令和元年11月23日(土)
13:00～16:30
会場 ホテル「南風楼」
参加者 10校 177名

講演
「子どもの生きる力を育む」ために」と題して、佐世保市出身で女優・歌手、そして研修講師としても活躍されている緒方美穂さんから、ワークショップを交えた講演をいただいた。「聞く」「聴く」「訊く」のそれぞれの意味に触れながら、親が「聴く」ことが、子ども



講師
緒方 美穂 先生
女優・歌手、
研修講師

終わりに 県生涯学習課坂本豊樹課長補佐から、PTA活動を続けるポイントとして、①持続可能な活動、②高校生の自律を促す活動、の2点を助言としていただいた。

「地域と学校とPTAが共に育つ取組」大崎高等学校PTAの活動」と題し、PTAにおける「一人一役運動」や外部指導者とPTAにおける生徒の面接指導など、学校・地域・保護者の連携による取組を紹介いただいた。



講師
松尾 賢志 先生
長崎県教育センター
情報化推進班

長崎県教育庁生涯学習課坂本信也指導主事から講演をいただき、幕を閉じた。今回の研修会では、島原半島が団結し学校・保護者・地域で子どもたちを温かく見守り必要に改めて気づかされた。

して英会話で親睦を深めた後、情報交換会で学校行事へのPTAの関わり方や連携の在り方について考えを深めることができたとの報告がなされた。

NSは手軽に情報発信できる便利な道具である一方、人を傷つけてしまったり、情報を悪用されて犯罪に巻き込まれてしまう可能性もあるものでもあることを改めて感じた。子どもたちがトラブルに巻き込まれないために、SNSの正しい使い方や危険性を学ぶ教材である「SNSノート」が「さき」の活用方法をわかりやすく教えていただいた。子どもたちがどのようにスマートフォンやSNSを利用しているのかを保護者がこまめに見守り、指導していくことの重要性を改めて感じた講演であった。

(平戸・松浦・北松地区)
心豊かでたくましい青少年の
育成をめざして

日時 令和元年11月9日(土)
13:30～16:50
会場 佐々町文化会館
参加者 7校 219名

講演

「スマホを巡る消費者問題
『SNSトラブル』について」というタイトルで、長崎県消費生活センターの青崎孔氏より講演をいただきました。講演では、名前を知らない者どうしがSNSでつながり犯罪(詐欺)を行うような事例が身近で起こっていること、ネットの世界は身近なものになっ

した。スマホを持たせることによる危険性を家庭で情報共有をし、子どもを守るためにしっかりと向き合っているという力説されました。参加者のアンケートには、「子どもにもう少し話しかけて情報の共有と絆の育成を図りたい」という主旨の言葉が多く書かれていました。最新の知識を得て、家庭の役割を振り返る大変有意義な講演でした。

修旅行は基本的には生徒の就職先を見学しながら、保護者の親睦を深めることでした。さらに、県内工業高校のPTA役員で集まる五工業PTA連絡協議会を定期的に開いて、議題を上げて小グループに分かれて協議を行っており、大変有意義な時間となっているとの報告がありました。

鹿町工業高等学校PTA会長 島山憲吾様より、「学校の現状とPTA活動」と題して研究発表が行われました。PTAと母の会の二つの組織からなり、県内を十二地区に分け、各地区からPTA代議員と母の会理事の二名を入学的の後、地区別に分かれ一年次・二年次・三年次分を一括して選出して報告があった。また、研

県教育庁生涯学習課山口千樹課長から、PTA活動において研修の機会を大切にして欲しいと講評及び助言をいただき、閉会しました。

長崎県より
県教育庁生涯学習課山口千樹課長より選挙権年齢の引き下げと高校生の投票参加について、また薬物乱用防止教育の重要性について説明をいただきました。

講演
「変化の時代、企業が求める人材とは」というタイトルで、福岡カレッジオブビジネスの横山正裕先生より講演をいただきました。横山先生は長年学生の進路指導に携わってこられ、その経験に基づいて具体例を交えながら今求められている人材についてお話しいただきました。企業が学生に求める能力は、コミュニケーション能力が不動

の一位であり、先輩・上司の意見を察知し、なおかつ自分の意見を言う主体性が求められていると指摘されました。また、面接試験における質問とその回答例について、ユーモアを交えながら説明され、企業側の質問の意図を汲み取る力を身に付けさせる重要性について語られました。いずれは社会に出ていく生徒たちをどう導いていくのか、保護者・教員それぞれの立場で改めて考える機会となりました。

学校紹介ビデオ上映
学校、各商業高校の学校行事を紹介する映像を上映しました。

講師
横山 正裕 先生
学校法人高山学園 専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネス 進路ガイダンス部長

(五島地区)
生まれ育った郷土を愛し、
自立心を持った子どもたちの
育成を目指して

日時 令和元年11月23日(土)
9:30～12:40
会場 五島高等学校メモリアルホール
参加者 8校 210名

動画やイラスト等を用いて明快に説明されました。我々を取り巻く情勢が変化する中で、特にスマートフォンが与える影響は大きいこと、単に規制をするのではなく、子どもの自制心を鍛えて、スマホ依存から脱却させること、周囲への関心や感謝する心を育むこと等の重要性がひしひしと伝わる熱い講演会でした。

ら発表がありました。地域の生徒減少が進む中、保護者が生徒や教職員、地域の方々の連携を強め、生徒たちのために取り組んでおられる活動の報告でした。

(対馬地区)
つながり合うPTA
～家庭とともにあるPTA
学校とともにあるPTA
地域とともにあるPTA～

第一分科会
ふるさと豆鼓を愛する児童を育てるPTA活動
～家庭・学校・地域の連携・協働を通して～
第二分科会
小規模PTAの組織運営について考える
～家庭・学校・地域が共に進むPTAを目指して～
第三分科会
育てよう咲かせよう 対馬の子どもたちの夢
日時 令和元年11月16日(土)
12:30～16:20
会場 全体会 対馬市公会堂
第一分科会 対馬市公会堂
第二分科会 豊玉文化会館
第三分科会 豊玉高校
参加者 353名

た。地域と連携しながら生徒の育成を見守っていく豊玉高校ならではの活動は、パワポイントで分かりやすく紹介され、保護者、教職員、地域が丸となり学校を盛り上げている様子を熱く語られました。

県生涯学習課山崎幸則係長から、PTAの意欲的な活動によって様々な絆が生まれていること、PTA活動は生徒の主体性を伸ばす方向性に向かうべきであること、持続力のあるPTA活動の工夫等について講評・助言をいただき、盛会裡に幕を閉じました。

講演
『目標達成のための生活習慣』(スマホ依存が子どもの心とからだに及ぼす影響について)と題して、カラダコンディショニング「サンクス」代表・杉野伸治氏にご講演いただきました。現在、取り組んでおられる健康維持活動・生活習慣トレーニング活動を中心に、自分の心を自分でコントロールできる力の大切さや、最近の子どもの状況(結果)は、最近の大人の言動(原因)によるものであることなどを、

意見発表
『連携による子どもの健全育成を目指した取組』と題して、上五島高等学校PTAから

講師
杉野 伸治 先生
KARADA CONDITIONING
「THANKS」代表

文化発表会では、対馬・豊玉・上五島高校の文化祭等の作品を対馬市公会堂入り口に展示しました。探究活動の説明や写真・書道・絵画の力作は大好評でした。

合奏作曲家 弓削田健氏による『命と夢のコンサート』の演題で式の講演をいただきました。

た。全国各地を旅しながら年間200回のコンサートをを行い、旅から得た気づきをもとに合奏曲を作曲されています。

今年度も県内七地区八会場において地区別PTA研修会が開催されました。各地区毎に研修内容を工夫し、周到な準備のもと実施していただき、関係の皆様方には厚くお礼を申し上げます。

地域と連携・協働するPTA

長崎県教育庁生涯学習課

今年度も県内七地区八会場において地区別PTA研修会が開催されました。各地区毎に研修内容を工夫し、周到な準備のもと実施していただき、関係の皆様方には厚くお礼を申し上げます。

五島地区では、上五島高校から「連携による子どもの健全育成を目指した取組」と題して実践発表がなされました。生徒数が最大時の四分の一まで減少する中で、PTAとしていかに子どもの教育環境を維持していくかがテーマでした。総務委員会では生徒との意見交換会が行われ、直接生徒の意見を聞き支援されています。

これらの研修会を通して、子どもの健全育成に、学校と保護者・地域が連携して取り組むことの大切さについて多くの会員が理解を深めました。同時に、PTA活動は地域が抱える課題の解決や地域の活性化にもつながることを実感されています。

これからは、学校と地域社会が同じ目標を共有し、子どもの健全育成に取り組むことが求められており、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子育てにあたるのが一層重要で

学校と地域が手を携えて活動することが、子どもの地域への愛着を育みます。また、大人同士の学びやつながりが深まり、地域創生にも貢献することが期待されるのではないのでしょうか。そのためにPTAが学校と地域を結ぶパイプ役となり、地域と共にあるPTAとして持続可能な活動が推進されることを願っております。

祝 優良PTA 文部科学大臣表彰

子どもたちとともに

佐世保工業高等学校

PTA会長

梶山 哲男

令和元年度からPTA会長を務めさせていただいています。前会長からこれまでの活動を引き継ぎ、PTA活動の活性化を図っています。活動の中で、『保護者同士のつながりを高める活動』『生徒の様子を見守る活動』『各種研修を通じた意識を向上させる活動』を行っています。

PTA活動の目標を「できることを、皆さまで」と設定し、事業を多くの保護者の参加のもとで、展開しています。事業運営委員会は、マラソン大会の千食を超える炊き出しを実施しております。研修委員会は、会員向けの研修旅行や研修会を実施しています。広報委員会は、年三回の広報誌の発行を行い、広報誌コンクールへも積極的に参加しています。

このような、多くの活動に対して、今回の受賞となりました。受賞に際し、多くの皆さまからお声がけいただき、身の引き締まる気持ちです。今後も、これまでの活動を継承しながら、子ども達が高校生活を通して成長することができるようなサポートを先生方と保護者でスクラムを組んで、取り組んでいきたいと思っています。



生徒の様子を見守る活動



保護者同士のつながりを高める活動



文部科学大臣表彰をうけて



各種研修を通じた意識を向上させる活動

地元根ざした PTAを目指して

PTA会長

江川 満



校舎

PTA活動としては、役員会や総会の開催に加え、PTA新聞の発行、三年生の学習合宿結団式での激励、八月の夏祭りでの非行防止のための夜警など、様々な活動を行っています。

特にPTA新聞では、生徒と保護者がともに離島を抱える問題に向き合ったり、地域の良さを



合宿結団式

本校は、明治四十二年に県立中学興館壱岐分校として開校し、今年度創立百十周年を迎えました。国公立大学等への進学や公務員等の就職を目指す「普通コース」と、本格的に歴史学や中国語を学ぶ「東アジア歴史・中国語コース」の二つのコースがあり、生徒たちはそれぞれの目標実現に向けて、学習と部活動の両立に励んでいます。学校行事も多彩で、どの生徒も明るくのびのびと学校生活を送っています。



記念式典

見出したりと、地元を見つめる紙面を企画しています。高校卒業後は島外に出ていく生徒がほとんどですが、この活動を通して、「いずれは壱岐に戻りたい」「壱岐に恩返ししたい」という声を聞くと嬉しくなります。今後も先生方と団結して、地元を密着したPTA活動を続けていきたいと思っています。

我がPTA

「出会い・触れ合い・支え合い」 桜の育友会

桜が丘特別支援学校

育友会長

堀部 由紀



文化祭（バザー）

本校は、長崎県のほぼ中央に位置する川棚町にあり、東には虚空蔵山、西には波静かな大村湾、町の中心部には川棚川が流れる自然に恵まれた環境に立地する病弱及び肢体不自由教育を行う特別支援学校で、県下唯一高等部まで設置されています。桜が丘特別支援学校育友会では、学校を介したこの出会いを大切に、学校教育活動の様々な場面で、児童生徒たちや先生方と触れ合いながら、和気あいあいと楽しく学校のサポートができるように活動しています。

夏休みの登校日（平和



運動会（綱引き）

卒業後の生活の場となる企業や事業所、施設などの見学研修も行っています。育友会活動が、同じ不安や悩みを持つ親同士が支え合える場として、もつと多くの保護者が参加できるような工夫を凝らし、学校とともに取り組んでいきたいと思っています。

蘇る言葉、根を張る

長崎県立長崎西高等学校

校長 渡川 正人



昔の教え子が、「先生が言われていたあのことの意味が最近やっとわかりました」とか、同僚だった当時は若かった先生が、「あの時の先生の助言が今はよく理解できます」と言うのを聞くことがあります。教師の指導や親のアドバイスは、子どもがいつか十分に納得して受け入れてくれるとは限らず、たとえ真剣に聞いてくれたとしても、その時は意味を深くは理解できないこともあります。時には聞く耳を持たず、反発することもあるでしょう。しかし、胸の中にしまひこまれたその言葉が、言い換えると地下に潜っていたその言葉が、数年、あるいは十年、二十年の時を経て蘇ることがあります。「母親はこういう気持ちで言っていたのか」とか、「あの言葉の真意はこういうことだったのか」と。そのときは、かつて聞いた言葉が、長い時間を経た重みと厚みが増して熱く心に響くのだと思います。したがって、「言うべき時に、言うべき人が、言うべきことを言う」ということが大切で、時、人、内容ともタイミングを逃さない助言の必要性を感じます。その時は十分に伝わらないことでも、心を込めて訴えた言葉はいずれ蘇り、その後の人生に生かせる貴重な教訓になるのだと思います。教育は、目の前の結果を求めながらも、長期的な目で見ることが必要なのではないでしょうか。

話は替わりますが、京都府宮津市にある日本三景の一つである「天橋立」を以前訪れたことがあります。幅二十、百七十メートル、長さ約四キロの細長い折れ曲がった砂州です。砂州の南北の高台には公園のベンチのような「股のぞき台」があり、股の間から逆さに見る眺望は、天に架かる橋、あるいは龍が天に昇るように見えるということですが、その松並木を歩いてみると、多くの松の木が傾いていることに気づきました。強風が原因だと思っていたのですが、しばらく歩くと看板にその説明がありました。理由は、地下水位が高いことと土の中の栄養が豊富過ぎること、深く根を張らなくても成長できることから、根が育たずに幹だけが育ってしまう、バランスが悪く倒れやすい状態になるということでした。人の教育と成長にも通じるものがあるように私は思いましたが、いかかでしょうか。県内すべての高校生が三年間で様々なことを学んで深く根を張り、たくましく育ってくれることを願っています。

令和元年度 委員会活動報告

総務委員会

①特別委員会より示された協議内容について、②「PTA総会への出席率向上」について、③「教員の働き方改革」について協議を行った。

①については、PTA規約、委員会規定、監査規定、経理規定、事務局運営規定、個人情報取扱規定について協議した。第三回委員会において最終案を決定し、第三回理事会へ提案、次年度総会にかけの決定を決定した。②については、十分な時間が取れなかった。「PTA総会への出席率向上について」は、今後のPTA活動の活性化に期待したい。なお、スローガン「繋がりあい共に育むPTA」を踏襲する。

次年度については、マイナンバーの普及及び制度整備等を踏まえた特定個人情報取扱規定、規約規定等のチェックシートの作成、今後の収入と支出のバランスをはかりながら会費等適正に決定していくことを引き継ぐこととした。

健全育成委員会

①「十八歳成人問題に伴う消費者トラブルの防止」について、②「スマートフォン等のネットワーク利用」について、③「家庭内コミュニケーションの向上」について協議と意見交換を行った。

①については、地区研修会において、消費生活センターより講師を招聘しての講演会やメディア指導員による講習会を実施した。家庭科の授業における出張講義を行っている等の報告がなされた。行政機関との連携が進めばより効果的な取り組みになる。②については、PTA総会に諮り携帯・スマホの構内持ち込み許可を求める方向の学校や現状を維持するなど地区や理事校の状況が報告された。すでに持ち込みを許可している学校では決められてルールを守っている。遠距離からの送迎や連絡に助かっている。一方で、SNSでの書き込み等が問題になっている。小学校段階からの情報リテラシー教育が必要である。子ども達の安全と学び、健全育成の面から様々な危険性やトラブル等の負の部分も十分考慮し、各学校の実態に合った校内ルールを構築する必要がある。学校から生徒への指導だけでなく、それを遵守させるための保護者の責任と共通理解も必要である。③については、親子一同行う料理教室やPTAでの炊き出し、体育祭での親子競技などいい機会になっている。

次年度については、スマホの校内持ち込みについて、情報リテラシーの育成及び家庭内でのルールづくりをテーマとして引き継ぐこととした。

進路対策委員会

①「新規高等学校卒業予定者に対する雇用の確保について」の依頼文書、②外部講師による講和③九高P連委員会の取り組みについて協議した。

①については、六月下旬に三十三の各地区商工会等へお願いの文書を送付した。各地区研修会の講和のテーマとして進路に関する内容を選択肢の一つとして加えていただくことを文書を通して提案した。②については、産業労働部若者定着課北島弘明参事を招いて県取組についての講和、質疑応答を行った。③については、各県の活動事例をまとめた事例集の作成が報告された。

県内雇用確保の依頼文書については継続して取り組む。各地区研修会において進路に関する講演を選択肢の一つとして検討を文書で依頼する。九高P連で作成する事例集について、委員会が協議を行うとともに、各単Pでの活用をお願いする。委員会における外部講師の講和は有益であり来年度も継続して実施する。その際、第二回が望ましい。以上のことを次年度への引き継ぎとしてまとめた。

調査広報委員会

今年度の広報紙コンクールは、「目的・使命」(十票)「企画・内容」(二十票)「編集・レイアウト」(十票)「見出し」(十票)の計五十点満点として採点した。どの広報紙もレベルが高く甲乙つけがたいものであった。

「表紙を含めて見やすさやインパクトの大きさは重要な視点である。」「他校の広報誌のレイアウトや企画について伝えたい。」「広報誌の紙面づくりだけでなく、この委員会の活動を通じて学ぶことも多かった。」「各学校でのご苦労や活動の特色づくりについてのお話を伺い、今後の活動に生かしていきたい。」「審査の評価基準の事前の周知や審査結果の総評も知らせたほうが良い。」「受賞作品をいつでも閲覧できるように県高P連HPに紙面までのせたほうがよい。」「との審査員の意見や感想が寄せられた。

多くの学校が応募するような周知の仕方や広報紙コンクールの啓発活動、自校で他校の広報紙を見ることができるようになれば広報紙作りの参考になるなど、次年度への要望があげられた。

令和元年度

PTA広報紙コンクール審査結果

今年度の広報紙コンクールは十一月中旬に第一次審査、一月十日に会長、調査広報委員、外部審査委員、教育委員会、事務局等八名で最終審査を実施しました。応募総数三十紙のうち十六紙が一次審査を通過し、入賞広報紙を選定しました。

外部審査委員としてお願いした、長崎新聞社 読者ふれあい室の石丸俊也様からは、タイトルと見出しは違う。手に取って読んでももらえる工夫としてタイトルは小さくインパクトのある見出しをつける。写真は大小メリハリをつける。PTAの担当者が疑問に思ったこと知りたいことを盛り込む広報紙づくりを心がけてくださいとのご助言をいただきました。

本年度は、新たに八単Pからの応募があり、そのうち五単Pが最終審査に残りました。応募いただきました単Pの皆様は心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。PTA活動推進のため、今後とも一紙でも多く広報紙コンクールに参加していただきますようお願いいたします。

長崎県教育委員会賞(最優秀賞)

佐世保西高等学校校友会 「満帆」

長崎県公立高等学校PTA連合会会長賞

口加高等学校PTA 「ともがき」

優秀賞

西陵高等学校PTA 「上野が丘陵」

猶興館高等学校PTA 「雷 映」

島原高等学校PTA 「古城の森」

奨励賞

佐世保特別支援学校PTA 「はなみずき」

長崎工業高等学校PTA 「匠の風」



コラム 学びの機会



長崎県立五島高等学校
PTA会長 山下 栄一

世界中に感動と希望をもたらした、人々を熱くしたラグビーワールドカップ日本大会は記憶に新しい。

大会会長は「ワールドカップ日本大会は、最高の大会のひとつであり、ラグビーに新たな観客をもたらしたという点で非常に画期的であり、このような素晴らしい、謙虚で、歴史的なホスト国であった日本と日本人に、心から感謝したい」と総括した。

優勝は成らなかったが、アイルランド代表、スコットランド代表という世界屈指の強豪を破る快進撃で初のベスト8入りを果たした日本代表のプレーは、大会の最も記憶に残る瞬間の一つであった。



なぜ日本代表はベスト8入りすることができたのだろう。テレビ画面に映った選手たちの表情には迷いもなく、素人の私にさえ、全員で勝ちに行くという気魄が伝わってきた。最高の舞台で自分たちのラグビーを貫くという信念と自信が勝利につながったのだと感じた。自信とは自分たちをワンチームとして信じる力であり、その根拠はさまざまなトレーニングを乗り越えてきたプライドと仲間との信頼関係なのだろう。

今大会には様々な学びの機会があった。子どもたちには競技に関する技術や知識だけでなく、目標に向かって努力を惜しまず、一丸となって挑む姿勢やラグビーの持つ「情熱」「結束」

「尊重」といった価値観等を感じてほしい。さらに、感じたことを生かす力に転換するために、それらをどう活用するか具体的に考え行動に移してほしい。困難に直面しても前向きに挑戦し続ける人間に育ってほしいと心から願う。

事務局だより

今年度の会報の発行につきまして、多くの学校・会員の皆様にご協力をいただきました。心よりお礼を申し上げます。

秋の地区別研修会は、県内七地区八会場で開催され、約千九百名の方々にご参加いただきました。各会場とも活発な協議・意見交換等がなされました。

次年度の九州・全国の高P連大会は記載のとおり、宮崎市、島根県で開催されます。多くの会員の方々に参加をお願いいたします。四月上旬、各校へ案内と要項を送付します。

令和二年度 高P連関係の主な行事

●県高P連定期総会
六月四日(木)
セントヒル長崎
「てげいっちゃん」

●九高P連大会
六月十八日(木)
十九日(金)
宮崎大会

●シーガイアコンベンションセンター
全国高P連大会
八月二十日(木)
二十一日(金)
島根大会

●松江市
(くにびきメッセ、松江
市総合体育館、島根県
民会館)

●安芸市
(総合文化ホールアルテ
ピア)

●雲南市
(三刀屋文化体育館アス
バル)

●出雲市
(出雲市民会館)

●県高P連ホームページ
<http://www.nagasaki-koupen.org/>